

新聞・雑誌から見る現代日本

第9回

「電車の中で化粧 どう思いますか？」

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情を紹介するとともに、中等教育機関や高等教育機関で日本語を教える先生方が、新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業にどう活用できるかを提案していきます。今回は「電車の中での化粧」に関する記事を取り上げますが、実際の教室活動の流れにそって質問と記事を提示しました。

「読む前に」の部分は、いきなり記事を読むのではなく、記事に関する背景知識を整理して、読む準備をすることを目的にしています。読む前の質問は、学習者が話題に関してどんな情報やイメージを持っているかを引き出したり、記事の内容を予測したりすることで、記事を読む意欲を高めることを狙っています。「読んだ後」の質問は、学習者が記事を読んで自分の頭の中に作り上げたイメージを表現させたり、記事への反応を他の学習者と交換させることを目的にしています。

読む前に

日本は公共の乗り物として鉄道が発達しています。時速約300キロで走る「新幹線」をはじめ、多くの種類の電車が走っており、沖縄や小さい島以外は日本列島を全て電車で移動することができます。主要都市では、地下鉄や私鉄、JRの電車が、隣の駅との間を5分以内で結んでいます。1日の本数もとても多く、朝夕の通勤時間帯は、2分～5分待てば次の電車が来ます。

そんな電車の中で、最近ある行為をする若者が増えて、周囲の人を驚かせています。その行為とは、……「化粧」です。首都圏に住む15歳～64歳の女性910人を対象に実施した調査（2000年6月 ポーラ研究所）によると、日本で電車の中で化粧をしている人の割合は、全体で7%、学生では21%だそうです。

電車の中での化粧をめぐる対談記事を紹介します。

質問1：あなたの国では、電車やバスなどの公共の乗り物の中で、化粧をしている人はいますか。それはどのぐらいの割合ですか。

質問2：見出しAとBを読むと記事内容を予想することができます。遙さんと鬼沢さんはそれぞれ「電車の中で化粧をする」ということについて、肯定的ですか、否定的ですか。その理由は何か考えてみましょう。

質問3：本文の①～⑤は司会者の質問です。そのうち①～③に二人がどう答えるか予想してください。

では、その答えをさがしながら本文を読んでみましょう。

朝日新聞（朝刊）2001年2月26日「電車の中で化粧 どう思いますか？」

『日本語教育通信』2001年9月「新聞・雑誌から見る現代日本」

第9回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。

朝日新聞（朝刊）2001年2月26日「電車の中で化粧 どう思いますか？」
あさ ひ しんぶん ちょうかん ねん がつ にち でんしゃ なか けしょう おも

『日本語教育通信』2001年9月「新聞・雑誌から見る現代日本」
にほんごきょういくつうしん ねん がつ しんぶん ざっし み げんだい にっほん

第9回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。
だい かい けいさい きじ ちよさくけん かんけい けいさい

読んだ後で

よ あと

質問4：記事を読んで①～⑤の質問に二人がどう答えているかまとめてください。

質問5：あなたは、電車などの公共の乗り物の中で、化粧
をすることについてどう思いますか。また、そう思う
のはなぜですか。

質問6：鬼沢さんが暴行を受けた事件についてどう思いま
すか。あなたの国でも同じような事件が起こる可能性
がありますか。

質問7：東京のある全日制都立高校4クラス150人に、マ
ナーやモラルに関するアンケートをしたという新聞記
事(2001年1月26日 朝日新聞)があります。右の表
はその記事に載っていた「許せる」(他の人がそうし
ていても気にならない)と答えた高校生の割合です。

この数字をどう思いますか。また、このアンケートから、どのような生徒像が浮かびますか。

電車の中で化粧 でんしゃ なか けしょう	59%
電車の中でいちやくカップル でんしゃ なか	47%
電車の床に座る若者 でんしゃ ゆか すわ わかもの	40%
映画館で鳴る携帯電話 えいが かん な けいたいでん わ	0%

※ 数字はアンケートした高校生が「許す」と答えた割合

〈解答例〉

質問2：遙さん→肯定的

他人は風景のようなもので、電車の中で化粧をしていても他人の視線は意識していない。

若いうちは自由にしたい。電車の中で化粧をする自由を認めてほしい。

鬼沢さん→否定的

化粧をしている姿を他人に見られたくないという感覚、つまり恥じらいという言葉はもう死語になってしま
ったのか。化粧をして化けていく過程は見たくない。

質問4：遙さんと鬼沢さんの意見のポイント

(遙さんの意見)

- ①電車の中の人には自分の人生に関係がないので、その人達の前で化粧するのは平気だ。
- ②年配の男性のマナーの方がもっとひどいので、女性の化粧のことを「おじさん」に批判されたくない。
- ③公の中に個人の空間があってもいい。個人の空間をジロジロ見る方こそマナー違反だ。
- ④暴れたい若者もそうでない若者もいる。一人の大人が注意しても改善できる問題ではない。
- ⑤暴れたい若者とは距離を置くという冷静な判断をした方がよい。人生の途中で態度を改める若者もいる。

(鬼沢さんの意見)

- ①女性には奥ゆかしさと恥じらいを求めたい。
- ②公衆の面前で化粧をする姿を見ると、「それはないんじゃないの」と非難したくなる。
- ③「同じ感性で同じ言語を使う人が仲間で、それ以外は関係ない」という若い人たちの考え方に接すると、とても心配になる。人と人とのつながりがこの世の中には存在しないのかと悲観的になってしまう。
- ④当たり前のことをやっただけ。すぐに人を刺すというような世代を作り出したのは、我々の責任でもある。
- ⑤当たり前のことが当たり前として受け取れない世の中はおかしい。自分の思いは伝えていきたい。

質問7：現代の若者は、自分達の自由には寛容な一方で、映画館で鳴る携帯電話など、自分達にも被害が及ぶ
迷惑行為には厳しいという傾向が見受けられる。この記事の見出しは、「いまどきの17歳、他人に厳しく
自分に甘く」となっている。

今回取り上げたテーマや練習案についてのご意見をお待ちしています。また、今回の記事を使って授業を
したときの様子や結果などを編集部までお寄せください。

このコーナーの担当＝木田真理、横山紀子(日本語国際センター専任講師)